



住江織物株式会社

2022年5月期 決算概況

2022年7月
証券コード：3501





目次

▽2022年5月期 決算概況

▶ 連結業績	P.03
▶ 連結業績（売上高/営業利益）推移	P.04
▶ 事業セグメント別内訳（インテリア事業 / 自動車・車両内装事業 / 機能資材事業）	P.06
▶ 連結バランスシート	P.13
▶ 設備投資・減価償却費	P.14

▽2023年5月期 計画

▶ 連結収支計画/事業セグメント別計画	P.15
▶ 配当金について	P.17

▽中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」 進捗

▶ 概要	P.18
▶ Topics ①～④	P.21
▶ 今後の重点取り組み ①～④	P.25

2022年5月期(2021年6月－2022年5月) 連結業績

(単位：百万円)

	当期	前期	前期比増減 (率) (額)		業績予想 (2021/10/15付)	業績予想比増減 (率) (額)	
売上高	81,713	79,702	+2.5%	+2,011	83,900	△2.6%	△2,186
営業利益	110	1,049	△89.5%	△938	402	△72.5%	△291
営業利益率	0.1%	1.3%			0.5%		
経常利益	950	1,211	△21.5%	△261	1,102	△13.7%	△151
経常利益率	1.2%	1.5%			1.3%		
当期純利益	281	409	△31.3%	△128	526	△46.5%	△244
当期純利益率	0.3%	0.5%			0.6%		

為替レート	当期	前期
1 \$ =	113.06	105.95

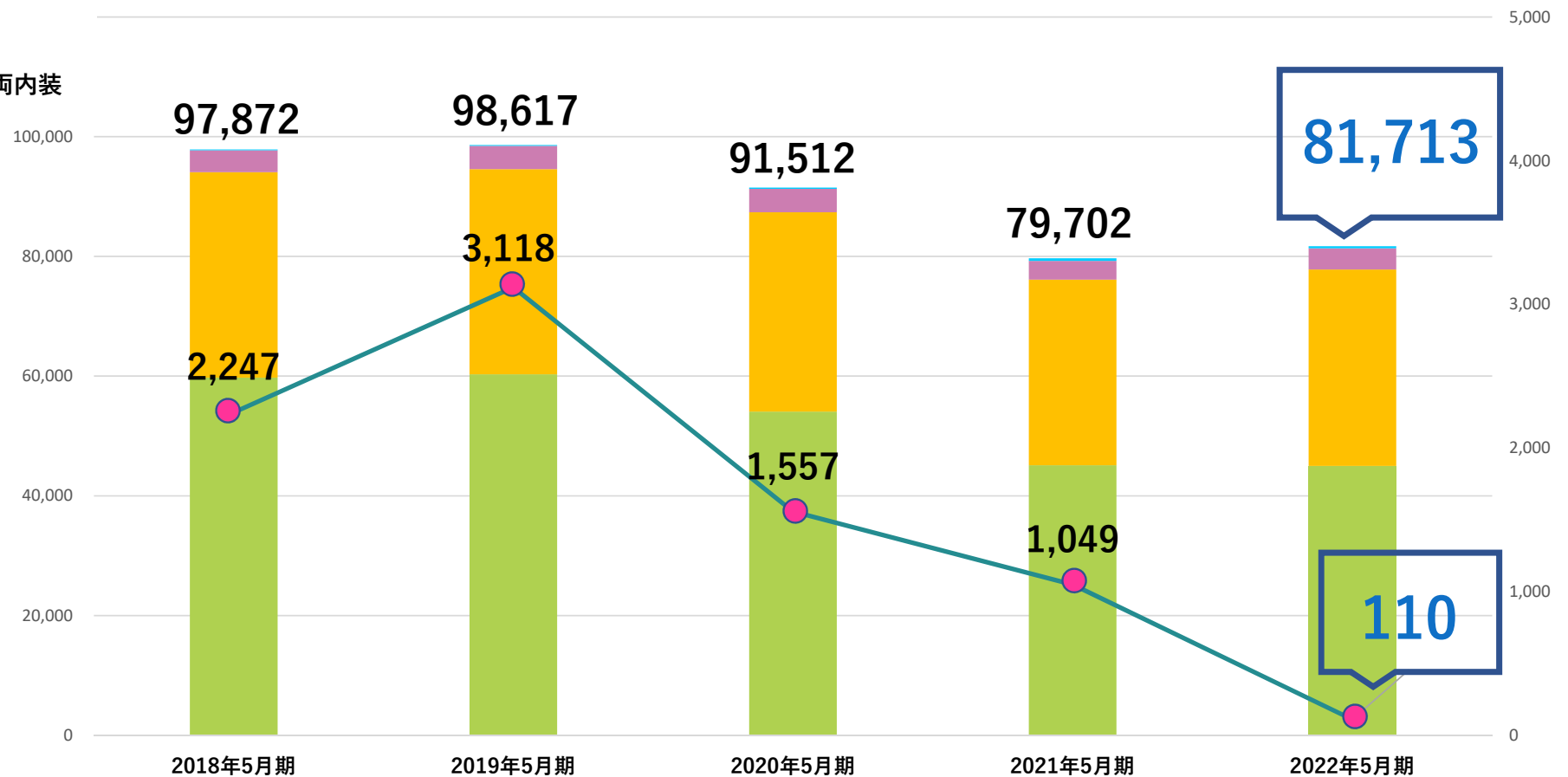
※ 当資料の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表している。

連結業績推移(売上高/営業利益)

■ 売上高（左軸） ● 営業利益（右軸）

- その他
- 機能資材
- インテリア
- 自動車・車両内装

（単位：百万円）



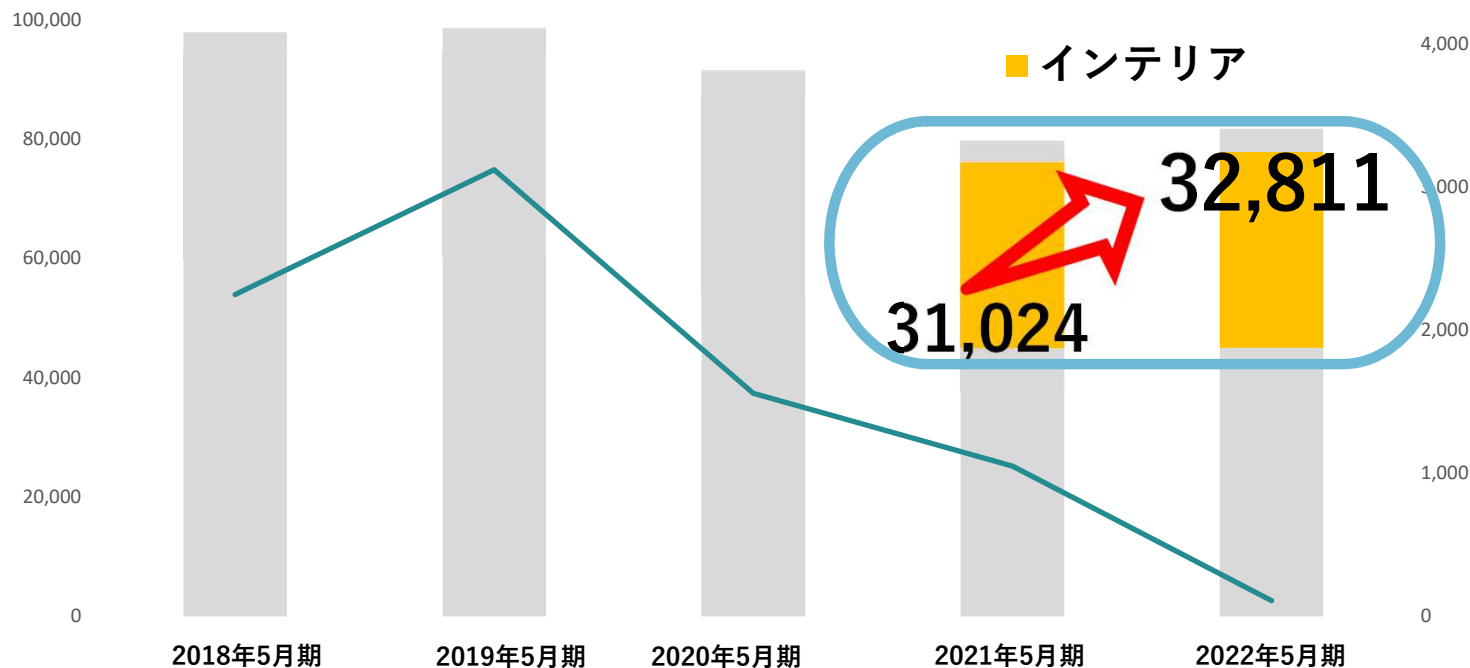
連結業績推移のポイント

(単位：百万円)

連結売上高 (営業利益)	97,872 (2,247)	98,617 (3,118)	91,512 (1,557)	79,702 (1,049)	81,713 (110)
-----------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------------

■ 売上高 (左軸) — 営業利益 (右軸)

新型コロナウイルスの影響



業績動向



2019年5月期まで売上高・営業利益ともに上昇傾向



2020年からコロナ禍によるインテリア市場の低迷や自動車の減産が、当社の各事業にも大きく影響



そのなかで、スペース デザイン ビジネスの強化と一部商材の価格改定が、当期インテリア事業の売上アップに寄与

連結業績の事業セグメント別内訳

(単位：百万円)

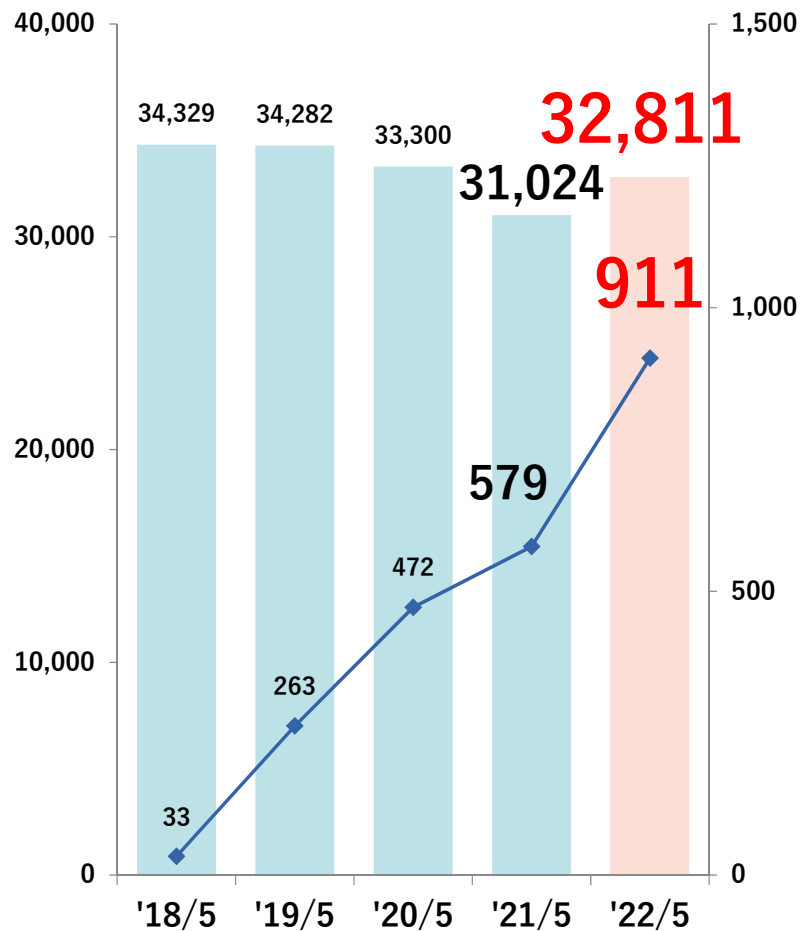
売上高		当期	前期	前期比 (率)	前期比 (額)	売上高比率 (当期)
	インテリア	32,811	31,024	+5.8%	+1,786	40.2%
	自動車・車両内装	45,005	45,102	△0.2%	△96	55.1%
	機能資材	3,548	3,130	+13.4%	+418	4.3%
	その他	349	445	△21.6%	△96	0.4%
	合計	81,713	79,702	+2.5%	+2,011	100.0%

セグメント利益		当期	前期	前期比 (率)	前期比 (額)
	インテリア	911	579	+57.2%	+331
	自動車・車両内装	1,127	2,102	△46.4%	△974
	機能資材	△192	△87	—	△105
	その他	63	73	△13.4%	△9
	調整額	△1,799	△1,619	—	△180
	合計	110	1,049	△89.5%	△938

インテリア事業

(単位：百万円)

■ 売上高 (左軸) ◆ セグメント利益 (右軸)



事業環境

新設住宅着工戸数

前期比

+9.8%

着工床面積

前期比

+5.0%

当社

売上高

前期比

+5.8%

(+1,786百万円)

セグメント利益

前期比

+57.2%

(+331百万円)

+ Point

- 住宅、非住宅分野の着工増加
- スペース デザイン ビジネスの強化
- 一部商材の価格改定効果

- Point

- コロナ禍による工事物件の持ち越し
- 販売子会社において貸倒引当金の計上

インテリア事業

業務用 カーペット

売上高 前期並み

- + ▶▶ 水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」の販売堅調
- ▶▶ ロールカーペットの物件増加
- ▶▶ OEM向けタイルカーペットの販売減少

家庭用 カーペット

売上高前期比 △9.2%

- ▶▶ 2021年5月期の外出自粛による、ウェブ向け・ホームセンターなどの店舗向け商材の需要一巡

カーテン

売上高前期比 △5.9%

- ▶▶ 一般家庭向け、医療・福祉・教育施設向けともに伸び悩み

壁装関連

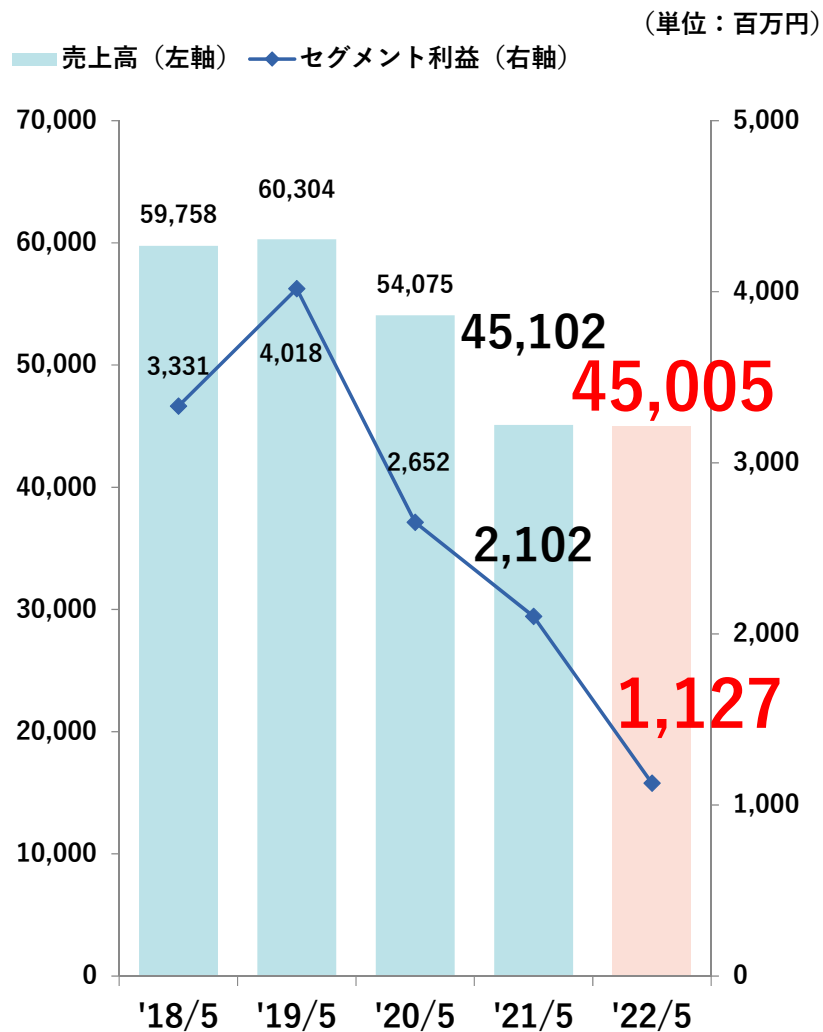
売上高前期比 +6.4%

- + ▶▶ 壁紙「ルノン マークII」を新発売
- ▶▶ 一部商材の価格改定効果

スペース デザイン ビジネス

- + ▶▶ (株)シーピーオー・(株)プレテリアテキスタイルの売上が寄与

自動車・車両内装事業



事業環境

当社

国内自動車 生産台数

前期比

△14.5%

海外自動車

前期比

生産・販売数 増

売上高

前期比

△0.2%
(△96百万円)

セグメント利益

前期比

△46.4%
(△974百万円)

+ Point

- 為替の変動影響
- 合成皮革などの非繊維商材の受注拡大
- 海外での堅調な自動車販売

- Point

- 半導体・部品供給不足による日系自動車メーカーの減産
- ロックダウンによるサプライチェーンの混乱
- 原材料価格・物流費の高騰
- 鉄道・バスの内装材需要低迷

自動車・車両内装事業

自動車内装 (国内)

売上高前期比 Δ 8.6%

- + ▶▶ 環境対応型商材「エコローレ」等への関心の高まり
- ▶▶ 半導体・部品供給不足による日系自動車メーカーの減産

自動車内装 (海外)

売上高前期比 +8.9%

- + ▶▶ 為替の変動影響
- + ▶▶ 合成皮革などの非繊維商材の受注拡大
- + ▶▶ インドネシアでの自動車購入時の減税による自動車販売伸長
- ▶▶ 米国 連結子会社の収益性低迷

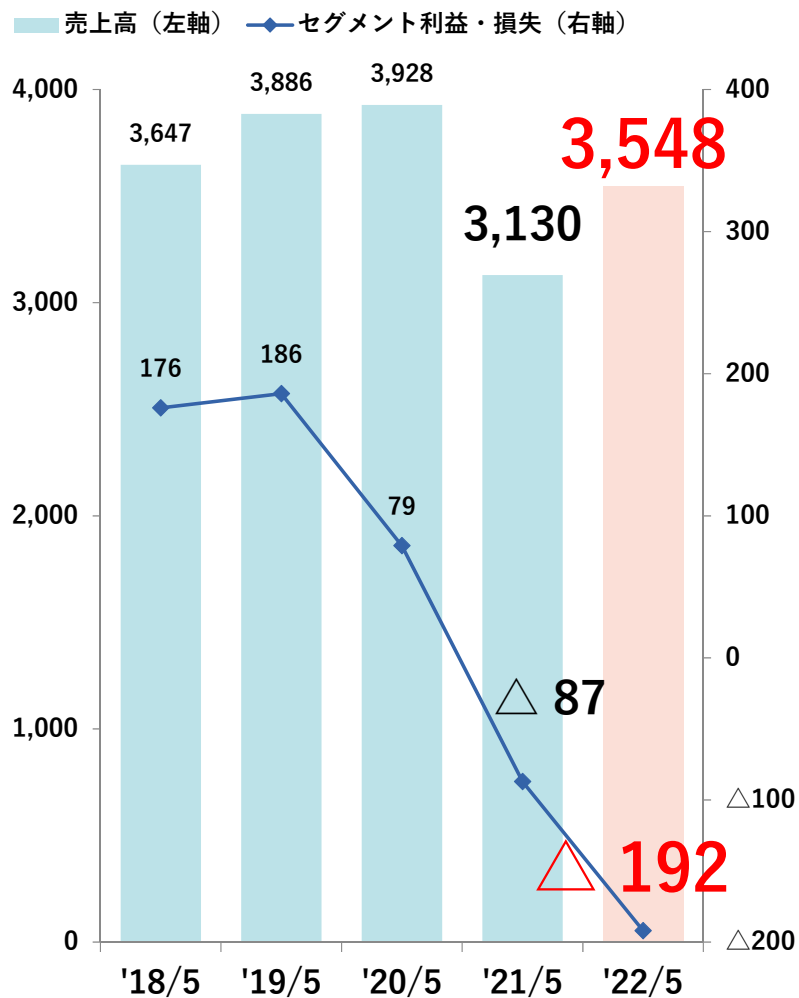
車両内装

売上高前期比 減少

- + ▶▶ 鉄道シート表皮材において市場トップシェア（約70%）を維持
- + ▶▶ 抗菌・抗ウイルス加工を施したシート表皮材の採用増加
- ▶▶ コロナ禍による鉄道・バスの内装材需要低迷

機能資材事業

(単位：百万円)



当社

売上高
前期比

+13.4%
(+418百万円)

セグメント損失
前期比

—
(△105百万円)

+ Point

- 2020年5月期の暖冬の影響解消
- 浴室床材の需要堅調

— Point

- 原材料価格の高騰
- 輸入コストの増大
- 中国・ベトナムの工場再編費用

機能資材事業

繊維系 暖房商材

+

▶▶ 2020年5月期の暖冬の影響解消による受注伸長

-

▶▶ 原材料価格の高騰、輸入コスト増大の影響

▶▶ 中国・ベトナム工場の再編費用

消臭 フィルター

+

▶▶ 抗菌・抗ウイルス機能「スミノエフレッシュ™ フィルター」を新発売

-

▶▶ 空気清浄機向け消臭フィルター低調（コロナ禍による需要増の反動減）

浴室床材

+

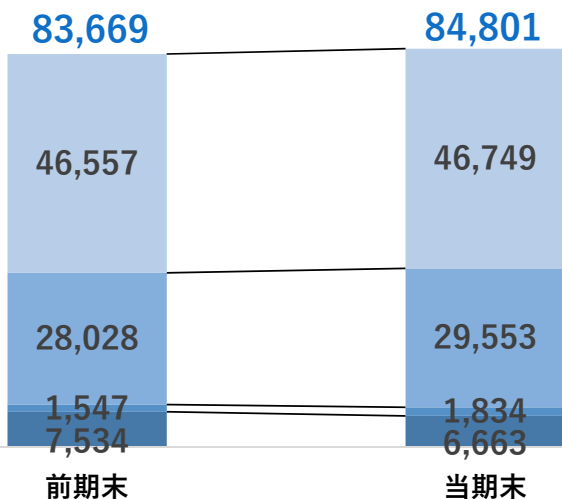
▶▶ 堅調な需要による受注増加

連結バランスシート

(単位：百万円)

< 資産 >

- 流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産
- 投資その他の資産



現金及び預金

前期末比△2,786百万円の8,150百万円

棚卸資産

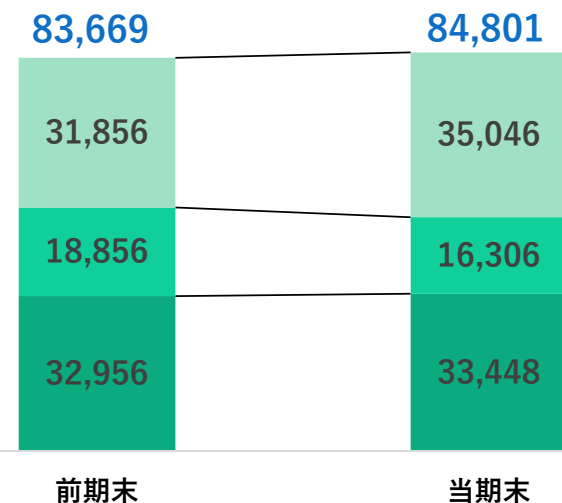
前期末比+2,760百万円の15,621百万円

投資有価証券

前期末比△612百万円の4,304百万円

< 負債・純資産 >

- 流動負債
- 固定負債
- 純資産



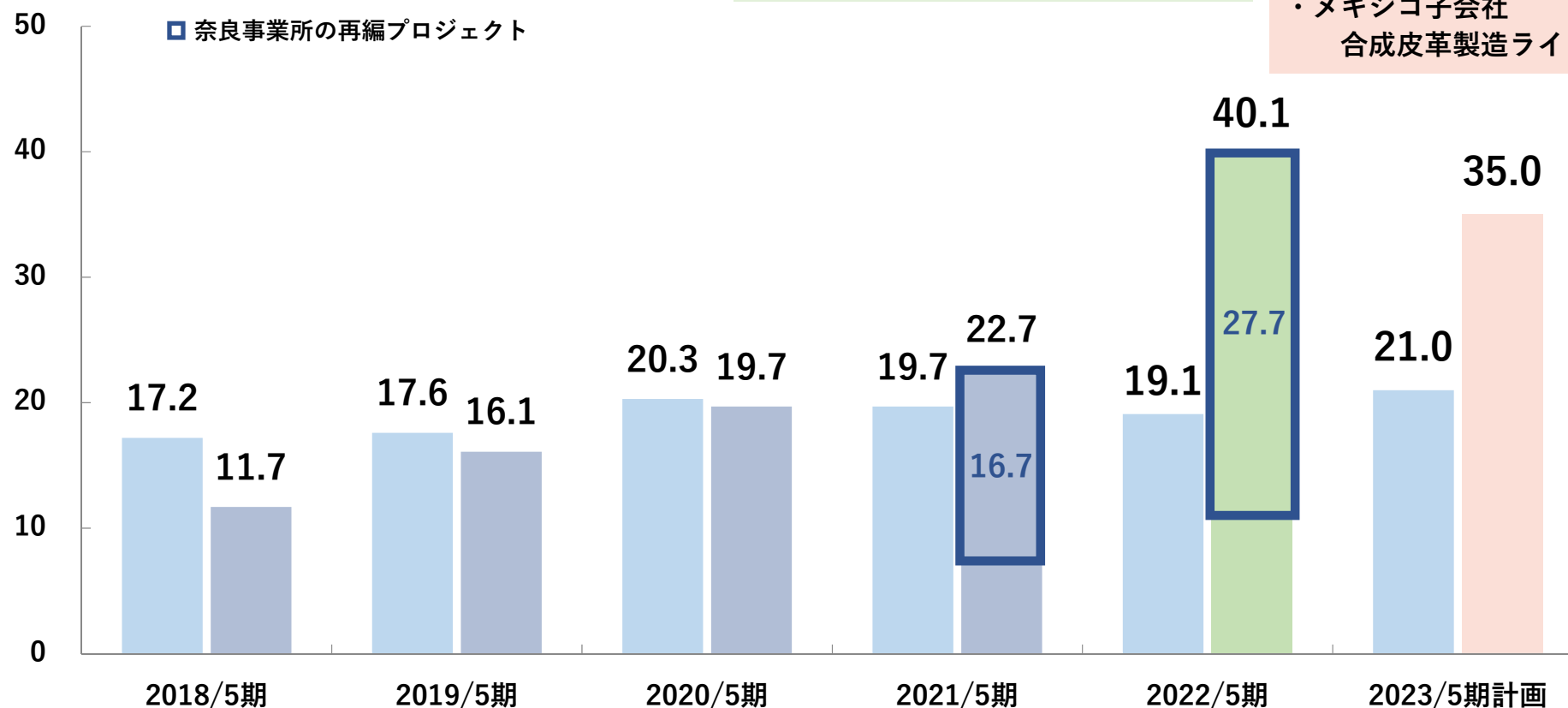
利益剰余金

前期比+808百万円の11,480百万円

設備投資・減価償却費

(単位：億円)

■ 減価償却費 ■ 設備投資
■ 奈良事業所の再編プロジェクト



2022/5期 設備投資の主な案件

・ 奈良事業所の再編プロジェクト 他

2023/5期 設備投資計画

・ 基幹システム再構築
・ メキシコ子会社
合成皮革製造ライン新設 他

2023年5月期 連結収支計画

(単位：百万円)

	2023年5月期 計画	2022年5月期 実績	前期比増減 (率) (額)	
売上高	89,000	81,713	+8.9%	+7,286
営業利益	1,700	110	—	+1,589
営業利益率	1.9%	0.1%		
経常利益	1,800	950	+89.4%	+849
当期純利益	500	281	+77.8%	+218

インテリア

- ・ 適正な価格での取引の推進と、オフィスやホテルなどの積極的な需要取り込み
- ・ シックなカラーと洗練されたデザインが魅力の新見本帳「mode Sカーテン Vol.10」の拡販
- ・ スペース デザイン ビジネスにおける当社グループならではの提案の推進

自動車・ 車両内装

- ・ 自動車関連：環境対応型商材や抗菌・抗ウイルスなどの付加価値商材などの開発による収益性の向上と、従来の繊維製品にとどまらない幅広い製品分野での事業展開の推進
- ・ 車両関連：需要回復への迅速な対応と商材の高機能化によるさらなる受注獲得

機能資材

- ・ 日本・中国・ベトナムの事業所連携による繊維系暖房商材の受注確保および収益改善と、価値を生み出す開発活動・営業開発力の強化

2023年5月期 事業セグメント別 計画

(単位：百万円)

売上高		2023年5月期 計画	2022年5月期 実績	前期比 (率)	前期比 (額)
	インテリア	33,760	32,811	+ 2.9%	+ 948
	自動車・車両内装	51,310	45,005	+ 14.0%	+ 6,304
	機能資材	3,530	3,548	△0.5%	△18
	その他	400	349	+14.6%	+50
	合計	89,000	81,713	+ 8.9%	+ 7,286

セグメント利益		2023年5月期 計画	2022年5月期 実績	前期比 (率)	前期比 (額)
	インテリア	630	911	△30.9%	△281
	自動車・車両内装	2,820	1,127	+ 150.0%	+ 1,692
	機能資材	△50	△192	—	+ 142
	その他	70	63	+10.0%	+6
	調整額	△1,770	△1,799	—	+29
	合計	1,700	110	—	+1,589

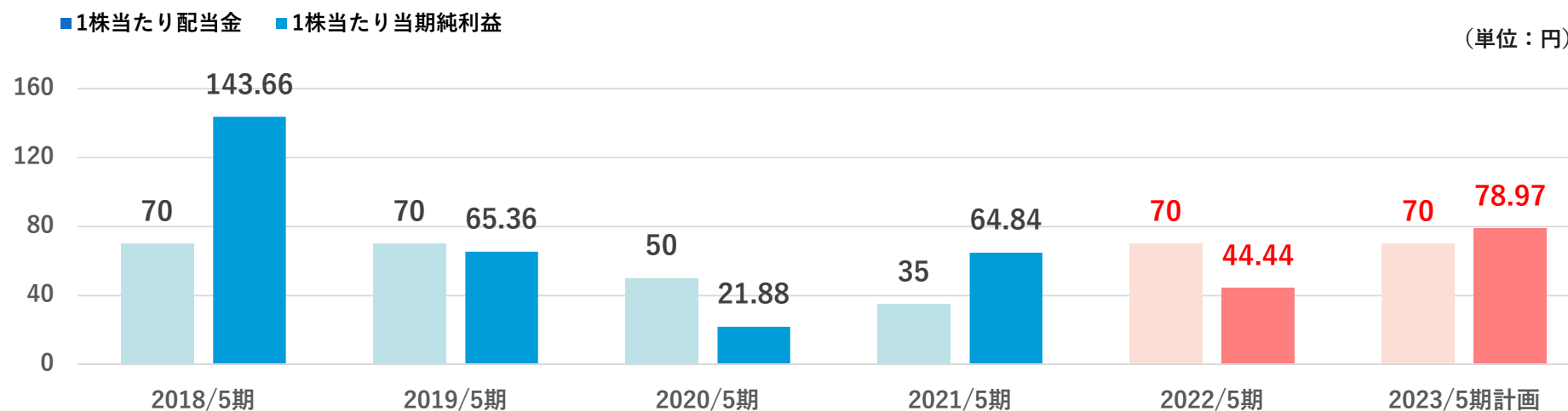
配当金について

配当政策

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら、適正な成果の配分を実施することを基本方針としています。
配当時期については、中間および期末の年2回を基本とします。

2022年5月期と2023年5月期配当について

2022年5月期の配当金につきましては、中間は1株当たり35円を実施、期末も35円とし、年間70円の予定です。
また、2023年5月期の配当金も、中間、期末ともに35円とし、年間70円とさせていただく予定です。





中長期経営目標 進捗

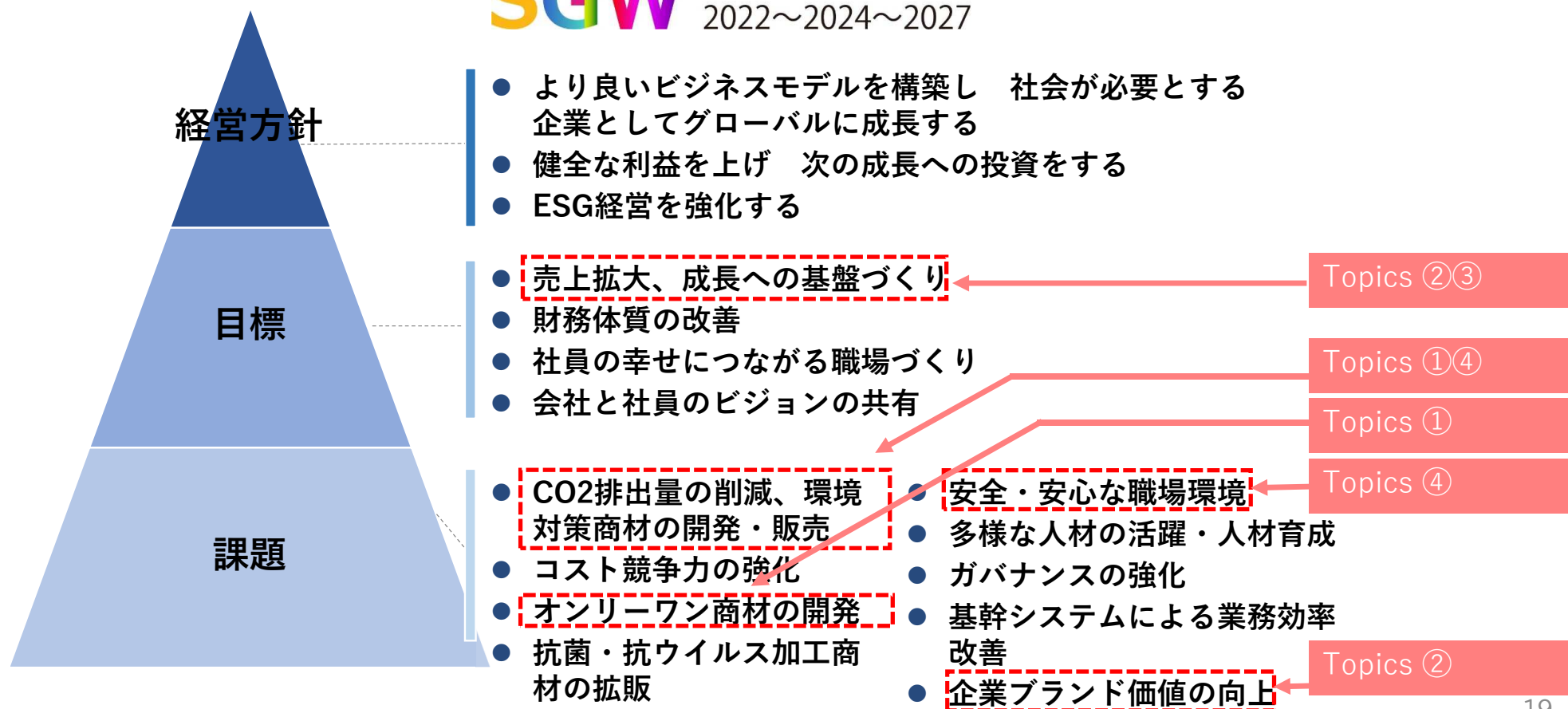
SGW SUMINOE GROUP WAY
2022～2024～2027

中長期経営目標

「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」

中長期的な「ありたい姿」を見据え、2027年5月期までの方針を定めました。

SGW SUMINOE GROUP WAY
2022～2024～2027



中長期経営目標

「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」

SGW SUMINOE GROUP WAY
2022～2024～2027

財務目標

非財務目標

経営方針

- より良いビジネスモデルを構築し 社会が必要とする企業としてグローバルに成長する
- 健全な利益を上げ 次の成長への投資をする
- ESG経営を強化する

売上拡大、成長への基盤づくり

・営業利益率5%以上 ・成長の基盤づくりに向けた投資計画 ・環境対応型商材の開発と販売促進

財務体質の改善

・DEレシオ改善 ・在庫回転率アップ ・自己株式の活用

社員の幸せにつながる職場づくり

・健康に働ける職場環境づくり、人材育成、多様な人材の活用

会社と社員のビジョンの共有

連結売上高
797億円

連結売上高
817億円

連結売上高
934億円

連結売上高
1,000億円以上

2021年5月

2022年5月

2024年5月

2027年5月

Topics ① リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」がW受賞

CO2排出量の削減、環境対策商材の開発・販売

オンリーワン商材の開発

水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」シリーズが
『第4回エコプロアワード』経済産業大臣賞および
『第22回グリーン購入大賞』プラスチック資源循環特別部門大賞を受賞



「ECOS®」による環境負荷低減への取り組みが評価されました

「ECOS®」は環境への配慮と経済性を両立したオンリーワン商品です

「ECOS®」の環境への取り組みを紹介する動画を作成しました

販売開始から11年にわたり
実績を積み重ねてきた
「ECOS®」。
その取り組みについての
動画を公開していますの
で、ぜひご覧ください。



Topics ② 「スペース デザイン ビジネス」の強化

売上拡大、成長への基盤づくり

企業ブランド価値の向上

「スペース デザイン ビジネス」強化のため 2022年1月(株)プレテリアテキスタイルを子会社化



■ (株)シーピーオー・(株)プレテリアテキスタイルが当期インテリア事業の売上アップに寄与しました

■ 今後店舗、ホテル、オフィス等へ事業領域を拡大していきます

Topics ③ 「繊維系暖房商材 海外事業所」の再編完了

売上拡大、成長への基盤づくり

『繊維系暖房商材の生産供給体制最適化・事業力強化』を目的に
海外事業所の再編を実施



2023年5月期よりベトナムSuminoe Textile Vietnamが繊維系暖房商材の主生産工場となります

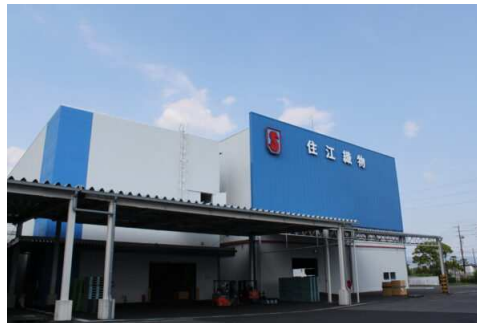
2003年より操業開始した蘇州住江織物は、Suminoe Textile Vietnamと連携して
生産供給体制の強化に貢献します

Topics ④ 「奈良事業所」の再編プロジェクト完了

CO2排出量の削減

安全・安心な職場環境

「奈良事業所」の再編により
『事業所内の配置再編・効率化』 および 『技術開発センター棟の新設』 を実施



■ 不要な生産設備の売却や集中により 生産能率の向上を図ります

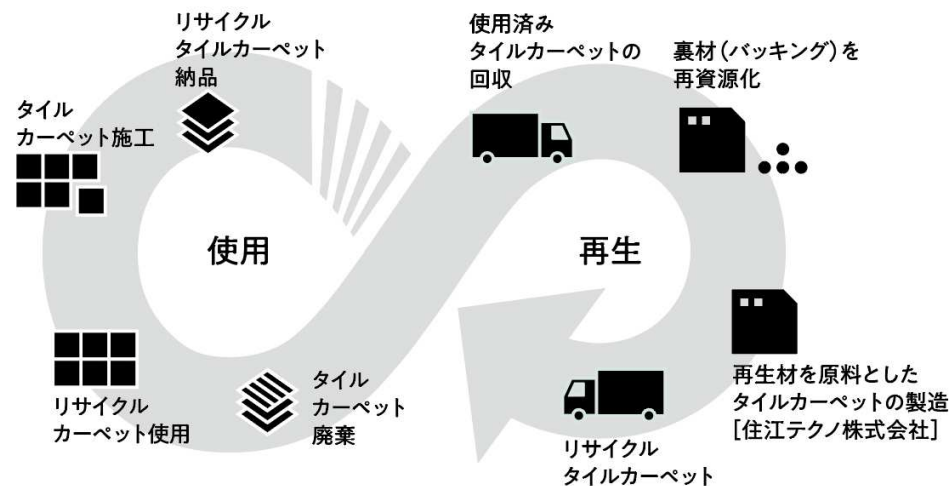
■ 物流倉庫の増築や外部倉庫費の削減により サプライチェーンの効率化を図ります

■ 技術開発センター棟の新設により 研究開発を強化します

■ 染色設備や排水処理場の撤去により 環境負荷の低減につなげます

今後の重点取り組み ① 資源循環型の都市形成に貢献

森ビル 虎ノ門・麻布台プロジェクト向け
水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」の生産と納入を開始



プロジェクト約35万㎡を森ビルから受注、2023年竣工予定

当社グループは、こだわりの「モノづくり」から、再生材とする廃タイルカーペットは日本製に限定し、住江テクノの専用製造ラインで加工することにより安定した価格と供給量を維持できる体制を構築

今後の重点取り組み ② トータルサプライヤーとしての提案力強化

当社グループの強みである、自動車内装材をトータルで提案・供給できる能力を強化し、
グローバルでの競争力を高めるため、
メキシコ子会社における自動車内装材向け合成皮革製造ラインを新設



投資金額：10億円（予定）

生産能力：合成皮革40万m/月

2023年7月製造ラインの設置開始、12月先行生産、2024年3月量産開始

今後の重点取り組み ③ 車両内装事業強化の推進

ジャガードおよびドビーモケット織物の生産・販売を行う
関織物(株)の株式を100%取得し、子会社化

株式取得の目的

- ① BCP（Business Continuity Planning）の推進
- ② 市場拡大
- ③ 諸費用削減

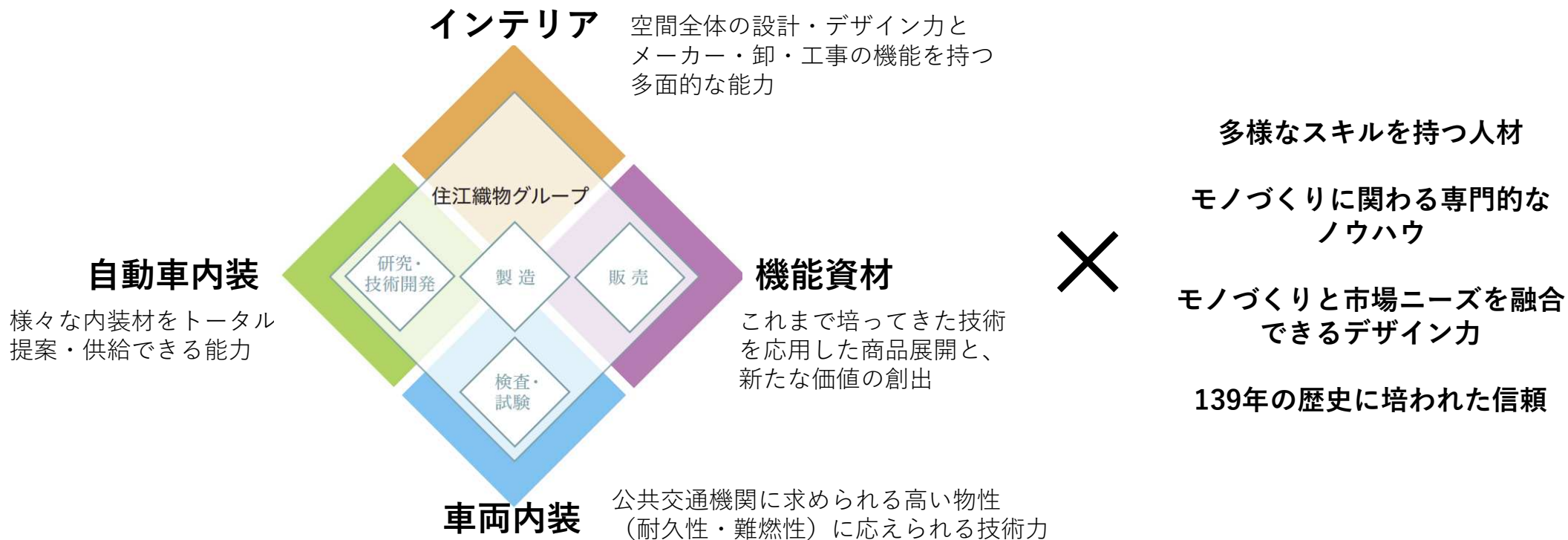
会社概要

商号	関織物株式会社
本社所在地	岐阜県関市広見739番2号
代表者	瀬戸 貞弘（執行役員 車両資材事業部門長）
設立	1987年3月25日
資本金	1,000万円
年間売上高	約3億円
設備	モケット ジャガード織機 12台・モケット ドビー織機 4台・織物 ジャガード織機 10台 仕上加工設備、反物検査機、物性測定機器



今後の重点取り組み ④ グループの総合力によるシナジー創出

それぞれ事業が属する市場ニーズに応える技術を持つ
当社グループならではの提案を進め、事業を超えたシナジーを創出





当資料の将来見通しに関するリスク情報

当資料における当社の今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。